

各 位

2026年4月15日

会 社 名 株式会社ジェネレーションパス  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 岡 本 洋 明  
(コード番号：3195 東証グロース)  
問 合 せ 先 取 締 役 鈴 木 智 也  
( TEL. 03-5909-2937 )

## 東京証券取引所スタンダード市場への市場区分変更申請に関するお知らせ

当社は、2026年4月15日開催の取締役会において、下記のとおり、東京証券取引所（以下「東証」といいます。）スタンダード市場への市場区分変更申請を行うことを決議し、市場区分変更申請を行いましたので、お知らせいたします。

### 記

当社グループは、創業以来、ECマーケティング事業を核として事業規模を拡大し、近年ではD2C（Direct to Consumer：工場から消費者に直接商品を提供するビジネスモデル）ブランドの確立や商品企画関連事業における海外製造拠点の整備等、単なる販売プラットフォームの運営を超えた「アジアンバリューチェーン（マーケティングデータ及びマーケットノウハウをアジアに循環させることで原材料の調達から商品開発、パートナーシップの構築等についてアジア圏を跨いで展開させるバリューチェーン）」の構築に注力してまいりました。

当社は2014年にグロース市場へ上場いたしました。急成長フェーズにある企業として資金調達環境の整備と知名度向上において大きな役割を果たしてまいりました。上場した2014年12月期における売上高は4,414百万円でありましたが、その後、商品企画関連事業の立ち上げ、中国・ベトナムへの海外製造拠点の構築、さらには日本以外の市場への販路開拓等、ECマーケティング事業の成長に加えて事業領域と地理的展開を着実に拡大した結果、進行年度である2026年10月期の売上高見込みは18,600百万円と、上場時比で約4.2倍の規模へと成長を遂げております。

現在、中期経営計画の達成に向けた施策は着実に軌道に乗っており、今後もD2Cブランドのさらなる拡充やアパレル市場への機能性繊維展開、海外顧客の本格的な獲得等を通じて、売上高・収益ともに引き続き拡大基調が続くものと見込んでおります。

こうした力強い成長の継続を見据えたとき、当社がその企業価値を市場において適正かつ十分に評価していただくためには、より幅広い投資家層が参加し、高度なガバナンスと情報開示が求められるスタンダード市場、さらにはプライム市場へと段階的にステップアップしていくことが不可欠であると判断いたしました。

スタンダード市場への区分変更は、次なる飛躍に向けた経営基盤の強化と資本市場における信頼性向上を同時に実現するための戦略的な選択であります。プライム市場が求めるより高度なガバナンス体制・情報開示水準・投資家との対話品質を着実に整備するうえで、まずスタンダード市場において事業基盤と内部管理体制をさらに強化・充実させることが、最も着実かつ確実な路線であると考えております。

グロース市場からスタンダード市場、そしてプライム市場へという段階的なステップアップを通じて、当社グループは資本市場における信頼性と存在感を継続的に高め、企業価値の最大化を実現してまいります。

以上の理由から、当社はグロース市場からスタンダード市場への市場区分変更を申請するものであります。

なお、本市場区分変更につきましては、東京証券取引所の承認をもって正式に決定されるものであり、現時点で市場区分変更が確約されているものではありません。

以 上